

グループ経営のIT戦略強化と自社経営強化を担う

グループCIO交流会議

《第1期 開催のご案内》

大手ユーザ企業の多くでは、情報部門を分社化させ情報戦略会社として自立・運営させる傾向にあります。

分社化の理由としていくつかの背景が考えられますが、ITが企業活動遂行上の有力な手段であり、IT化による業績向上や競争力強化はもとより企業価値の向上とグループ企業の結束を緊密なものとするのが、その根底にあると考えられています。

IT戦略子会社では、親会社において検討される情報化戦略を受けて情報システムの有効性評価や最適な情報システム投資の提案と構築・運用が求められるなど、重要な責務を負っています。

小会ではこうした**IT戦略子会社の経営者を『グループCIO』**と位置付けました。

グループCIOは、IT戦略の企画立案責任者であるCIOとともに、経営のビジョン・ミッション・ストラテジーをITで示せる能力と、企業グループの横断的なコミュニケーション能力を要求されています。同時に、年々増加するIT投資への適切な判断など極めてミッションクリティカルな任務を担当しています。

こうした状況を踏まえ、小会では経営とIT戦略の融合を担うグループCIOの方々を組織化し、直面する経営課題と解決のための情報提供や国内リーディングカンパニーによる事例紹介など、グループCIOの方々が一共に会し研究とディベートを行う場の設置を目的とした「グループCIO交流会議」を開催いたします。

本趣意書ご高覧のうえ、よろしくご参加のご検討賜りたくお願い申し上げます。

開催の趣旨

- グループ経営のIT戦略強化に向けて
- 日本を代表する企業のグループCIOが
- 本音ベースの意見交換を行い、
- 共通の重要課題の解決をめざす。

第1期「グループCIO 交流会議」 開催概要

- 目的** : 1. グループ企業における経営とITの融合戦略を見据えたIT戦略推進責任者として、グループCIOが果たすべき役割の理解を深めます。
2. グループ経営のもとでITサービス主体の戦略子会社として、経営力強化のための様々な課題について討議いたします。
3. 異なる業種のグループCIOの方々、ならびに有識者との人材ネットワーク形成の場を提供し、共通の問題意識を有するメンバー間の意見交流を促進いたします。

参加対象 : ユーザ系IT戦略子会社における経営者、役員

期間 : 2006年5月～2006年11月(全5回開催)
(時間は各回とも15:00～17:30を予定、期間中2回懇親会を開催)

運営方式 : 主たる企画内容の検討は、別途構成する運営委員会にて行います。
委員構成案は下記を参照ください。

参加費用 : **早期申込割引** 157,500円(企業情報化協会会員・1名様あたり)
通常参加費 178,500円(企業情報化協会会員・1名様あたり)
220,500円(上記会員外・1名様あたり)

注:早期申込割引は、2006年5月9日までとなります。
上記参加費用には、定期会費(年5回)、懇親会費・消費税を含みます。
定員(40名)になり次第締め切らせていただきます。

参加要領 : 1)別紙参加申込書に、必要事項記入の上、事務局へ郵送またはFAXにてご送付ください。
2)開催場所は、日本能率協会ビル(東京都港区芝公園3-1-22)研修室となります。(お申込者には別途ご案内申し上げます。)

運営委員会委員: ■第1期「グループCIO 交流会議」運営委員会委員■
【委員長】株式会社MM 総研取締役所長 国際大学教授 中島 洋
【副委員長】鉄道情報システム株式会社 代表取締役社長 竹井 大輔
【副委員長】ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役社長 小林 俊
【委員】
味の素システムテクノ株式会社 代表取締役社長 大原 一明
株式会社IHI エスキューブ 代表取締役社長 大木 隆平
株式会社キリンビジネスシステム 代表取締役社長 田村 雅行
株式会社ジェーエムエーシステムズ 代表取締役社長 丸尾 健司
全日空システム企画株式会社 代表取締役社長 小堤 雅史
株式会社テブコシステムズ 代表取締役社長 平井 憲
ドコモ・システムズ株式会社 代表取締役社長 中津川 丹
東北インフォメーション・システムズ株式会社 取締役社長 國井 匡裕
日揮情報システム株式会社 代表取締役社長 岩本 紘武
日本郵政公社 顧問 吉本 和彦
古河インフォメーション・テクノロジー株式会社 代表取締役社長 檜物 雄作
マテリアル・システム・サービス株式会社 代表取締役社長 皆川 雅之
三井造船システム技研株式会社 代表取締役社長 島野 芳巳
横河情報システム株式会社 代表取締役社長 山本 剛

(順不同・敬称略)

研究討議テーマ・内容

第1回 5月16日(火)

テーマ	情報システム子会社の成長戦略—求められる機能と行動指針—(仮題)
講師	三井造船システム技研株式会社 顧問(前社長) 開発 敏光 氏
要旨	グループCIOとして実績を挙げた実務家より、情報戦略子会社の成長戦略やミッションを語っていただき、その役割や有るべき実像を探ります。

第2回 6月12日(月)

テーマ	BSCをベースとした経営の可視化と内部統制強化のためのIT戦略
講師	日本アイビーエム・アプリケーション・ソリューション株式会社 執行役員 CRM/BI プロモーション・コンサルティング担当 成田 徹郎 氏
要旨	迫りくるJ-SOX法に対応したビジネスプロセス革新と経営可視化のためのIT戦略に対応する方法論についてBSCをベースに研究します。

第3回 7月19日(水)

テーマ	グループ企業におけるITガバナンスの確立と情報子会社の役割
講師	ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役副社長 桑折 雅嗣 氏
要旨	情報子会社としてグループ企業のシステム支援により成果を挙げた事例について報告いたします。

第4回 9月21日(木)

テーマ	G-CIOが対応すべきリスクと対策—情報漏洩・動かないシステムetc—
講師	人選中
要旨	自社経営のリスクマネジメントとして掲げるべき課題とその事前対策について有識者による解説を行います。

第5回 11月24日(金)

テーマ	ソフトウェア産業の将来展望—IT産業勝ち組の要件—
講師	株式会社MM 総研 代表取締役所長 中島 洋 氏
要旨	ソフトウェア産業の日本的危機を打開し成長企業への変革や革新へ結びつける考え方について総括を行います。

※上記講師は一部ご依頼中の方が含まれています。

※基本時間

午後15時00分～17時00分を基本といたします。

基本時間配分	
15:00	ご集合
15:00～15:30	メンバー企業活動紹介
15:30～17:00	講演・ディスカッション
17:00～18:30	情報交換会(期間中2回開催します)

■運営委員長・コーディネータご紹介■

株式会社MM 総研 取締役所長
国際大学教授
首都圏ソフトウェア協同組合理事長
中島 洋 氏

【略歴】

東京大学大学院修士終了。日本経済新聞で産業部記者、日経BP社で「日経コンピュータ」「日経パソコン」を担当後、日本経済新聞編集委員。97年～02年慶応義塾大学教授。現在国際大学主幹研究員、日経BP社編集委員。

